令和2年度の重点課題

〇本校に入学してくる児童については、生活 習慣や食習慣に課題のある児童が多い。そ のため、体格的に未熟であったり、基礎体力 が十分身に付いていない児童が多い傾向が ある。

○個々の児童の生活習慣を改善していくことと、定期的な運動習慣をつけていくことが当面の課題と考えられる。

上記の課題を受けて具体的に 取り組んだ事項

- ○運動部活動の時間を毎日確保し、継続的 に運動に親しむ環境を整えている。中学生と ともに活動することで、動きのモデルを示して もらい、自分の動きの参考にした。
- ○体育の授業の準備運動の中に補強運動・ 柔軟運動等を取り入れ、総合的な筋力・柔軟 性等の向上に努めた。
- ○体験的な活動を通して、土を耕す、物を運 ぶなどの活動の中で総合的に体を使う点に 留意しつつ活動に取り組んだ。
- 〇体育の授業を通して、自身の健康や安全 について考えたり、将来の生活においてより よく生活できるために、必要な基礎的・基本 的な知識や技能を学習した。

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|-------|-------|------|----|-------|-------|-------|---------------|------|-------|-------|-------|
| 第5学年 | 16.00 | 27.00 | 40.00 | 42.00 | 71.00 | 9.20 | 156.00 | 21.00 | 61.00 | 第5学年 | | | | | | | | | |

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|-------|-------|------|----|-------|-------|-------|---------------|------|-------|-------|-------|
| 第5学年 | 16.00 | 27.00 | 40.00 | 42.00 | 71.00 | 9.20 | 156.00 | 21.00 | 61.00 | 第5学年 | | | | | | | | | |

■県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|------|------|-----|
| 第5学年 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

学校独自の意識調査

| | 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|---|------|-----|------|------|----|------|----|------|------|----|
| - | 第5学年 | 0 | 100 | 0 | 0 | 第5学年 | | | | |
| 1 | 第6学年 | 100 | 0 | 0 | 0 | 第6学年 | | | | |

重点課題

○本校転入前には、基本的生活習慣が整っていない児童が 多いため、健康的な生活習慣を知り、それを実践していくこと ができる知識や態度を培う。

〇運動部活動を継続して行い、運動習慣を身に付け、基本的な体力を向上させる。また、健康的に生活できる知識や態度を養う。

○転入してから期間の短い児童は極端に数値が悪いが、日々 の取り組みを通して基礎的・基本的・総合的な体力を向上させ ていく。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

〇体育科の授業において、体力づくりに継続して取り組み、基礎的・基本的な体力の向上及びバランスの良い動きづくりに取り組む。

〇保健の授業において、健康的な生活習慣について学習し、自らの生活に反映できるようにさせる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 〇入園前に生活習慣の乱れがあり、運動習慣が定着していないので、広島学園との連携を行い、 健康的な生活習慣と運動習慣の確立を目指す。
- 〇もみじ小学校・もみじ中学校合同で放課後部活動(春〜夏過ぎ:野球、夏過ぎ〜春:陸上(長距離走))を実施しているため、その活動への参加を推進する。その中で、基礎体力つくりから複合的な動きまでの総合的な運動を取り入れる。
- 〇入所期間が長い児童は、B判定以上の数値を目指す。
- 〇部活動に関連の大きいボール投げ、50m走、シャトルランの数値を県平均以上を目標とする。

(本校の特性上、生徒の転入・転出が頻繁にあるため、個々の数値を継続して計測していくことが難しい場合があります。)

令和4年度の 重点目標値

令和2年度の重点課題

○基本的生活習慣が整っていない生徒 の割合が多いため、規則正しい生活習 慣を送ることができる知識や態度を養 う。

〇運動部活動を継続して行い、運動習 慣を身に付け、健康的な生活ができる 体力をつける。

〇男子:全体的に数値は低い。その原因として本校に来るまでは運動習慣が 定着しないものがほとんどであった。

〇女子:個々の基礎的・基本的な運動 能力は入所の時期が短いほど数値が低 い傾向がある。(各学年とも若干名の 数値の為、全体的な比較が難しい。)

上記の課題を受けて具体的に 取り組んだ事項

○保健体育の授業の準備運動の中に補強運動・柔軟運動等を取り入れ、総合的な筋力・ 柔軟性等の向上に努めた。

○運動部活動の時間を毎日確保し、継続的 に運動に親しむ環境を整えている。特に部活 特性として下半身の強化や体幹の強化に重 点を置いた。

○体験的な活動を通して、土を耕す、物を運 ぶなどの活動の中で総合的に体を使う点に 留意しつつ活動に取り組んだ。

○保健の授業を通して、将来の自身の生活 において健康に生活するために必要な基礎 的・基本的な知識や技能を学習した。

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

| 第0份年 21 67 07 02 44 67 51 17 01 02 700 000 50 10 17 41 67 第0份年 07 00 05 00 40 00 45 00 70 00 | 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|---|------|-------|-------|-------|-------|---------------|------------------|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|---------------|-----|------|--------|-------|-------|
| 第2字年 31.07 27.83 44.07 51.17 81.83 7.88 202.30 19.17 41.07 第2字年 27.00 25.00 48.00 40.00 70.00 | 第2学年 | 31.67 | 27.83 | 44.67 | 51.17 | 81.83 | , and the second | 7.88 | 202.50 | 19.17 | 41.67 | 第2学年 | 27.00 | 25.00 | 48.00 | 45.00 | 70.00 | | 9.50 | 148.00 | 15.00 | 49.00 |

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|---------------|-----|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|---------------|-----|------|--------|-------|-------|
| 第2学年 | 31.67 | 27.83 | 44.67 | 51.17 | 81.83 | | 7.88 | 202.50 | 19.17 | 41.67 | 第2学年 | 27.00 | 25.00 | 48.00 | 45.00 | 70.00 | | 9.50 | 148.00 | 15.00 | 49.00 |

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 第2学年 | 83.33 | 16.67 | 0.00 | 0.00 | 第2学年 | ##### | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

学校独自の意識調査

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|------|------|----|------|-----|------|------|----|
| 第1学年 | 0 | 100 | 0 | 0 | 第1学年 | | | | |
| 第2学年 | 83. 3 | 16.7 | 0 | 0 | 第2学年 | 100 | 0 | 0 | 0 |
| 第3学年 | 100 | 0 | 0 | 0 | 第3学年 | 50 | 0 | 25 | 25 |

重点課題

○本校転入前には、基本的生活習慣が整っていない生徒が 多いため、健康的な生活習慣を知り、それを実践していくこと ができる知識や態度を培う。

〇運動部活動を継続して行い、運動習慣を身に付け、基本的な体力を向上させる。また、健康的に生活できるよう自らの生活習慣と関連付けて思考できる態度を養う。

○転入してから期間の短い生徒については極端に数値が悪いが、日々の取り組みを通して基礎的・基本的・総合的な体力を向上させていく。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

〇保健体育科の授業において、体力づくりに継続して取り組み、基礎的・基本的な体力の向上及びバランス の良い動きづくりに取り組む。

体育の授業以外で行う取組内容

〇連携・協力して日々の生活習慣を確立させ、健康の保持増進、体力の維持向上を促進させていく 〇放課後の部活動(野球部・バレーボール部・陸上部)を週5日取り組む中で、全体的・総合的な体 力を向上させていく。

令和4年度の 重点目標値 〇昨年度から在籍している生徒については、B判定以上の数値を目指す。

○部活動に関連の大きいボール投げ、50m走、シャトルランの数値を県平均まで伸ばす。

|(本校の特性上、生徒の転入・転出が頻繁にあるため、個々の数値を継続して計測していくことが難しい場合があります。)